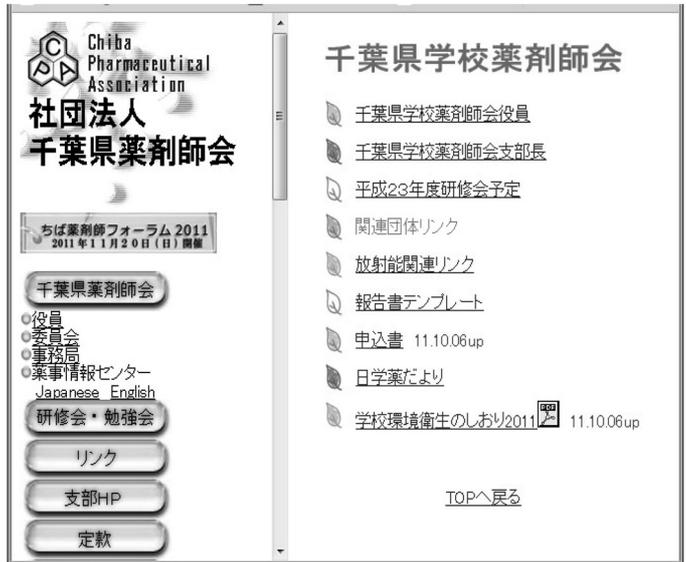
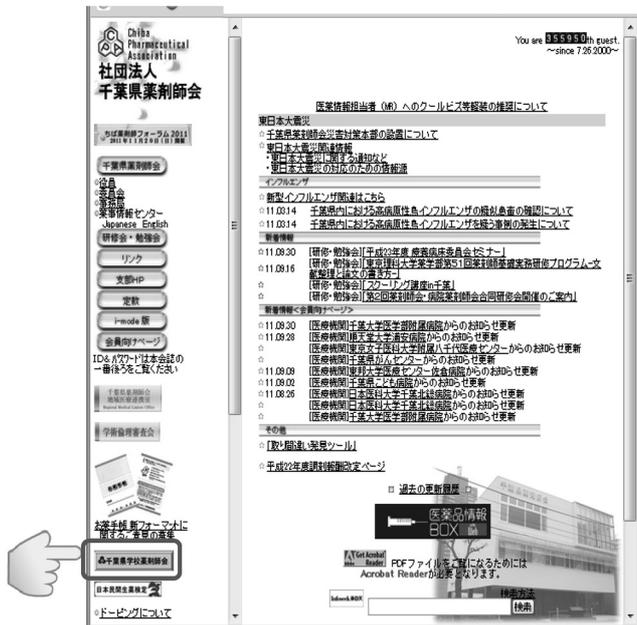


かねてよりご案内の通り、千葉県薬剤師会ホームページがリニューアルされ、「千葉県学校薬剤師会」のページが創設されました。(http://www.c-yaku.or.jp/)



千葉県薬剤師会ホームページのトップ画面の左に「千葉県学校薬剤師会」のバナーが出来ています。

「千葉県学校薬剤師会」のページでは、今年度の研修会予定や各種報告書のテンプレートの印刷が出来るようになっております。

学校保健法が、学校保健安全法にかわり、環境衛生検査等に変更があります。新しい検査法に沿った検査、指導助言を行うために、検査項目等の参照になるように報告書が作られています。この報告書を参照に各市町村の教育委員会と検討して、より良い検査が出来るようにして下さい。

また、不備、追加等がありましたら改訂していき

たいと思いますので、ご連絡下さい。

研修会については、今年度の日本学校薬剤師会研修会も併せて載せてあります。興味のある研修会に、奮って参加してスキルアップに役立てて下さい。

開催済みの研修会については、報告書を掲載しております。

また、「学校環境衛生のしおり」「くすり模型の貸し出し申込書」もホームページからダウンロードできますので、ご活用下さい。なお、くすり教育を行う時のパワーポイントもダウンロード出来るように検討しております。ホームページを利用して学校薬剤師の仕事バックアップして参ります。

支部長会議報告

10月2日（日）、平成23年度学校保健講習会及び薬物乱用防止教室講習会の前に、第3回支部長会議を開催いたしました。23支部中17支部の支部長にお集まりいただき、ホームページについての反響や各地区の「くすり教育」の情報、改定以降の環境衛生基準検査等の状況をディスカッションいたしました。地区により温度差はあるようですが、「くすり教育」については、関心が非常に高まっている様でした。最後に、各支部での問題点について情報交換いたしました。

平成23年度学校保健講習会及び薬物乱用防止教室講習会 (兼薬物乱用防止教育専門指導員養成講座) 報告

10月2日千葉県薬剤師会会議室で午後1時より開催されました。参加人数141人

※詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

1. 学校環境衛生の検査結果に対する措置と ウイルス感染症について

東北薬科大学薬学部名誉教授
日本学校薬剤師会常務理事・宮城県学校薬剤師会
副会長 横田 勝司先生

①学校保健安全法の主な変更点は、(定義)第2条「学校」とは、学校教育法第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校(1条校という)。校長は、学校の環境衛生に関し適正を欠く事項があると認められた場合には、遅滞なく、その改善のために必要な措置(以下、事後措置という)を講じ、又は当該措置を講ずる事ができないときは、当該学校の設置者に対し、その旨を申し出るものとするとなった点です。



横田勝司先生

～第1 教室等の環境に係る学校環境衛生基準～

- 1) 換気(CO₂)が1500ppmを超えた時は、換気(方法)・燃焼器具の点検・原因の究明・感染症の防止
- 2) 相対湿度が30%以下又は80%以上の場合は、加湿器・除湿器・感染症の防止
- 3) ダニ又はダニアレルゲンが基準値を超えた場合は、除湿器・掃除・原因の究明
- 4) 照度が不足した場合の対策は、照明器具の清掃・増灯・照明器具の取替

～第4 水泳プールに係る学校環境衛生基準～

- 1) 大腸菌が検出された場合は、遊離残留塩素を2.0mg/l位にした後・光分解・気化するのを待つ。
- 2) 総トリハロメタンが基準を超えた場合は、落ち葉やゴミ及び虫等を除去する。

②ウイルス感染症については、特に、ノロウイルスは、10～100個で感染能力があるため予防に注意が必要である。最後に、消毒剤のそれぞれの特徴について話があった。

2. 薬物乱用防止教室講習会 「学校での薬物乱用防止教育の効果的な実践について ～ライフスキルからロールプレイングを学ぶ～」

財団法人日本学校保健会事務局次長
元公立中学校校長 並木 茂夫先生

薬物依存は、そのほとんどが低年齢時の喫煙経験が入口であるともいわれており、その喫煙誘導を絶てば、そこから派生する色々なことが阻止できると考えられています。



並木茂夫先生

子どもが地域で良いことをしたら、誉めたり、悪いことをしたら叱ることも大切である。しかしながら、現在は、子どもの自尊感情(セルフエスティーム)を高める働きかけが少ないため、家庭においては、子どもの話をしっかり聞いてあげることが大切である。

知識習得を学ぶ授業後の生徒の感想には、「自分で調べ・自分で考え・自分で発言したことは、忘れると言われても忘れられない」などがあり、知識が行動変容に結びつく防止教育として、中学校では、ロールプレイング授業を実施している。ロールプレイングの目的は、新しい行動の仕方について練習し、たくさんの解決策があることを知り、他の人の演技を観察して学ぶことであります。また、ライフスキルとは、WHOの定義によると、日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な心理社会能力をいい、色々なスキルがある。それぞれのスキルの紹介の後、ロールプレイングの紹介がありました。

予告

① 中学生用くすりのパワーポイント作成中

平成24年度より中学校において「くすり教育」が保健体育の授業の中に取り入れられました。また専門的知識を持つ人が学校で講話をすることの教育的意義が認められ、教師と協力して教師以外の者が、児童生徒に話をするが増えています。なるべく若いうちから「薬の持つ意味」「くすりを正しく使う」事を学ぶことは、大変意義があることには異論のないところです。薬の専門家としての薬剤師、特に学校には、必ずいる学校薬剤師が「くすりの話」をすることを依頼される可能性は大いにあると思います。そうは言っても、どのような話をどのように進めたら良いかわからない方が大勢いらっしゃると思います。そこで千葉県学校薬剤師会は、誰でもできる「正しいくすりの使い方」のパワーポイントを作成しております。またこの画面ではこの様に話したら良い、このようなデモンストレーションをしたら良いというようなシナリオも作成して、皆様に提案してまいります。

まもなく学薬の皆様にお配りできると思いますので、今しばらくお待ちください。

② 次回の研修会

★日程：平成24年2月5日（日）午後予定

中学校用の「くすり教育」DVDも完成間近でございますので、それを基にしたロールプレイング・グループディスカッションを催したいと考えております。是非、今からスケジュールに入れておいて下さい。

③ 放射能測定モニタ

日本学校薬剤師会から放射能測定モニタ（下写真）3台を頂きましたので、役員でまず1週間ずつ測定しております。集計結果をそえて、各支部長へ貸し出しする予定です。



報告

* 文部科学大臣表彰 表彰者

鴨川支部 川上 正利 先生

* 日本学校薬剤師会 表彰者

我孫子支部 松下 世津子 先生

第61回全国学校保健研究大会及び第61回全国学校薬剤師大会にて表彰されます。

受賞、おめでとうございます。

コラム 学校薬剤師の誕生

昭和5年、北海道小樽市の奥沢小学校での女子児童が風邪に罹って眩暈がしたので、アスピリンを服用させるところを誤って昇汞（しょうこう：塩化第二水銀：HgCl₂）を飲ませ、児童が死亡した事故があり、学校における医薬品の管理、学校

薬剤師の必要性が問われるようになりました。この誤薬によって、小樽市や東京市で学校薬剤師が委嘱され、その後大阪や名古屋などでも学校薬剤師が誕生することになりました。

放射性物質関連情報

放射能とは

放射能 radioactivity,radioactive ratio

放射線を出す能力：あるか、ないか
放射線を出す能率を表す単位：
Bq（ベクレル）

※「放射能漏れ」という表現は間違い。
※漏れるとしたら、放射線か放射性物質。

要因	がんになるリスク
放射能と生活習慣によってがんになるリスク	
2000ミリシーベルトを浴びた場合	1.6倍
喫煙	
毎日3合以上飲酒	
1000～2000ミリシーベルトを浴びた場合	1.4倍
毎日2合以上飲酒	
やせすぎ	
肥満	1.22倍
運動不足	1.15～1.19倍
200～500ミリシーベルトを浴びた場合	1.16倍
塩分の取りすぎ	1.11～1.15倍
100～200ミリシーベルトを浴びた場合	1.08倍
野菜不足	1.06倍
受動喫煙	1.02～1.03倍

（国立がん研究センター調べ）

放射線とは

放射線 radiation

物体から放出される電磁波など
（赤外線、可視光、紫外線、X線、粒子線）
放射線を受けた時の影響の程度を表す単位：
Sv（シーベルト）

屋外プールの対応 1）（会津若松市教育委員会判断）

- ① プールの清掃は児童生徒は参加させない
 - ② 清掃の際には念のため長靴を履く
 - ③ プールでの水泳は行う。雨天の場合は（校庭と同じく）プールの授業は控える
 - ④ 授業後シャワーで全身を洗い流し、うがい・手洗いを徹底する
 - ⑤ 保護者への情報発信、丁寧な説明に努める
 - ⑥ 毎朝、「はかるくん」でプールサイド、プールの4隅の水面の放射線量を測定記録し、保護者等には定期的に公表する
- （会津若松市教育委員会うえぶさいとスクスクウェブより）

平成23年5月11日発表の日本原子力研究開発機構の報告 2)

福島県の中学校、幼稚園での調査で、砂や土壌の放射能は、深さが5cmを超えると急激に低下している。

土壌の汚染は、5cmにとどまる。

1) 2)
（公財）原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所
山本 尚幸副所長 講演スライドより